

令和7年5月22日  
障 害 福 祉 部  
障 害 保 健 福 祉 課

## 高次脳機能障害者支援に関する試行実施の取り組み状況について

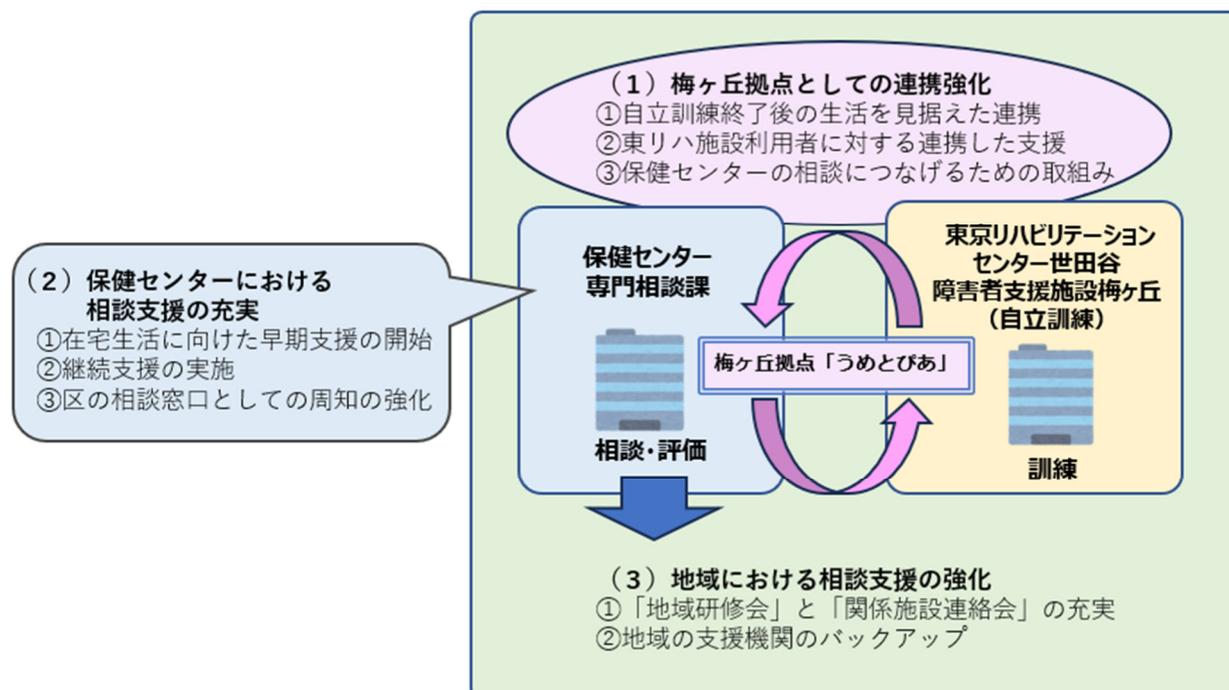
### 1 主旨

令和6年9月3日の福祉保健常任委員会において、梅ヶ丘拠点（保健センター及び東京リハビリテーションセンター世田谷（以下「東リハ」という））における高次脳機能障害者支援に関する検討状況と試行実施について報告した。今般の試行実施の状況及び令和7年度以降の取り組みについて報告する。

### 2 令和6年10月からの試行実施の状況

令和6年度に梅ヶ丘拠点において課題の共通認識を図るとともに拠点としての連携強化を目的として、区・保健センター・東リハの三者で検討と課題整理を行い、10月から次のとおり試行実施の取り組みを進めている。

#### ※試行実施のイメージ図



## (1) 梅ヶ丘拠点としての連携強化

| 【項目】   | 【内容】   | 【実績】   |
|--|--|--|
| ① 自立訓練終了後の生活を見据えた連携  | 東リハで自立訓練終了後の支援方針等を検討する「終了前カンファレンス」への保健センターの参加。 | 訓練終了後のライフステージの変化により生活の困りごとが見込まれるケースで、特に継続した支援が必要な方に関する「終了前カンファレンス」に保健センターが参加し、関係づくりを行った。(2回参加) |
| ② 東リハ施設利用者に対する連携した支援   | 様々な支援が必要となる困難ケースに対する梅ヶ丘拠点での連携した支援の実施。          | 家庭環境に複合的な課題を抱える等、訓練のみでは解決が困難なケースに関するカンファレンスに保健センターが参加した。(2回参加)                                 |
| ③ 保健センターの相談につなげるための取り組み  | 東リハの施設内にて、保健センターによる「出張相談会」を開催。                 | 東リハの自立訓練利用者及びそのご家族を対象に保健センターの事業説明を実施。(3回開催・計46名参加)   |
| <b>【今後の取り組み】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練終了後の生活に不安があるなど継続した相談支援の必要性が高いケースが少なかったが、引き続き梅ヶ丘拠点としての連携を強化し、訓練終了後も相談対応が必要な方をしっかり見極めて、継続した支援につなげていく。</li> <li>・東リハの自立訓練利用者等に対する保健センターの説明は好評であったが、「一度で内容理解しきれない」、「時間がたつと忘れてしまう」等の意見が参加者からあったため、定期的に東リハで説明や相談の機会を設けていく。</li> </ul> |  |  |

## (2) 保健センターにおける相談支援の充実

| 【項目】              | 【内容】  | 【実績】  |
|-------------------|---|---|
| ① 在宅生活に向けた早期支援の開始 | 入院中から支援者として保健センターが関われるよう、医療機関への働きかけを強化。         | 保健センターが区内外の近隣の、救急・回復期の医療機関へ訪問し、周知を行った。(11病院訪問)                  |
| ② 継続支援の実施         | 適切な支援の組み立てやつなぎを関係機関と連携して行い、つないだ後も、支援者としての支援を継続。 | 専門職による評価を踏まえ、相談員が助言や支援の提案等をしている。支援機関につないだ後の支援のあり方については、検討を継続する。 |
| ③ 区の相談窓口としての周知の強化 | 相談支援リーフレット等を作成し、家族や関係機関を中心に保健センターの相談機能の周知を強化。   | 保健センターの高次脳機能障害支援に特化したリーフレットを作成し、医療機関・総合支所・あんしんすこやかセンター等へ配布した。   |

**【今後の取組み】**

・医療機関や関係機関と連携した支援については個々の支援の実践を積み重ね、連携方法等を確認するとともに、相談機能の周知と関係機関への働きかけを継続的に行っていく。

(3) 地域における相談支援の強化

| 【項目】  | 【内容】   | 【実績】   |
|---|--|--|
| ①「地域研修会」と「関係施設連絡会」の充実   | 保健センターが中心となって、目的や開催方法などを見直し、地域の支援機関が役割に応じた支援を提供できるように地域の連携を強化。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢・介護分野の支援者を対象に、制度や支援事例の紹介を通じて対応力の向上を図る地域研修会を実施した。(1回開催6人参加)</li> <li>・区西南部高次脳機能障害支援センター(日産厚生会玉川病院)が主催する圏域連絡協議会に参加し、区内外の機関との情報共有を図った。</li> </ul> |
| ②地域の支援機関のバックアップ   | 高次脳機能障害者への支援経験やノウハウ等が少ない支援機関に対する、保健センターの相談員や専門職によるバックアップの実施。   | 地域の支援機関から依頼を受けて支援者会議に相談員・公認心理師・作業療法士が参加した。(5回参加)   |
| <p><b>【今後の取組み】</b></p> <p>・支援機関における対応力の向上、必要な支援につながる支援ネットワークの構築に向け、高次脳機能障害支援に携わる支援者が集まる機会に講演や研修、事例検討会を企画する。</p> |  |  |

3 その他の取り組み

|                    | 【項目】                         | 【内容】   |
|--------------------|------------------------------|--|
| ①保健センターにおける相談支援の充実 | 相談支援体制の強化等                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月より保健センター高次脳機能障害相談支援担当に社会福祉士1名、作業療法士1名を新規採用した。(専任職員6名体制)</li> <li>・令和7年3月末に保健センター内に、高次脳機能障害者への相談用に2室を確保した。</li> </ul> |
|                    | 東京都事業(区市町村高次脳機能障害者支援促進事業)の受託 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度から受託予定</li> <li>・既受託事業者である「ケアセンターふらつと」と、施設訪問や意見交換を通じた支援方法の情報共有等に取り組む。</li> </ul>                                  |
| ②地域における相談支援の       | 当事者会や家族会の支援や居場所の確保           | ・2月に障害当事者が出演する「春の音コンサート」及び家族交流会を保健センターにて   |

|    |  |  |
|----|--|--|
| 強化 |  | <p>開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センターが当事者会等と関係継続し、当事者や家族を会につなぐケース等で連携していく。</li> <li>・家族が障害特性や対応方法を理解・共有することを目的とした家族向け交流会を実施する。</li> <li>・高次脳機能障害者の居場所・地域交流の機会の確保について検討するため、他自治体の支援機関の視察を実施する。</li> </ul> |
|----|--|--|

#### 4 今後のスケジュール（予定）

令和7年度～8年度 試行実施の評価・検証

令和9年 4月 本格実施